

## 全基廃炉 福島願う

### 県民大集会に7000人

東日本大震災と東京電力 年がたった23日、福島市の  
福島第一原発事故から約2 郊外、あづま総合体育館で



各界各層の訴えを聞く「原発のない福島を！ 県民大集会」の参加者=23日、福島市

「原発のない福島を！ 県民大集会」が開かれまし

た。全国各地からの参加者

も含めて約7000人で会

場はあふれ、「停電と冷却

システム停止で、福島第一

原発の事故「収束」には程

遠い」「県内全原発の廃炉

を」という声が相次ぎまし

た。

主催者あいさつで五十嵐史郎実行委員長が「福島県民の願いは県内10基すべての廃炉と安心して暮らせる福島を取り戻すこと。東電、国に最大限、早急な取り組みを求め、この集会を開きました」と訴えまし

た。

清水修二福島大学教授が呼びかけ人を代表してあいさつ。フリーライターの鎌田慧氏が連帯あいさつし、

ふたば農協、相双漁協、高校生、県森林組合連合会、県旅館ホテル生活衛生同業組合、県外避難者、子ども保養プロジェクトのメンバーがそれぞれ発言。

「人の力で制御できない原発はつくるべきではない」などの訴えに、大きな拍手が寄せられました。

ふたば農協、相双漁協、高校生、県森林組合連合会、県旅館ホテル生活衛生同業組合、県外避難者、子ども保養プロジェクトのメンバーがそれぞれ発言。

「人の力で制御できない原発はつくるべきではない」などの訴えに、大きな拍手が寄せられました。

ふたば農協、相双漁協、高校生、県森林組合連合会、県旅館ホテル生活衛生同業組合、県外避難者、子ども保養プロジェクトのメンバーがそれぞれ発言。

「人の力で制御できない原発はつくるべきではない」などの訴えに、大きな拍手が寄せられました。

ふたば農協、相双漁協、高校生、県森林組合連合会、県旅館ホテル生活衛生同業組合、県外避難者、子ども保養プロジェクトのメンバーがそれぞれ発言。

「人の力で制御できない原発はつくるべきではない」などの訴えに、大きな拍手が寄せられました。

ふたば農協、相双漁協、高校生、県森林組合連合会、県旅館ホテル生活衛生同業組合、県外避難者、子ども保養プロジェクトのメンバーがそれぞれ発言。

「人の力で制御できない原発はつくるべきではない」などの訴えに、大きな拍手が寄せられました。

ふたば農協、相双漁協、高校生、県森林組合連合会、県旅館ホテル生活衛生同業組合、県外避難者、子ども保養プロジェクトのメンバーがそれぞれ発言。

「人の力で制御できない原発はつくるべきではない」などの訴えに、大きな拍手が寄せられました。

ふたば農協、相双漁協、高校生、県森林組合連合会、県旅館ホテル生活衛生同業組合、県外避難者、子ども保養プロジェクトのメンバーがそれぞれ発言。

- ・1F福島県内参加者
- ・2F全国参加者
- ・消防法の関係で7,000人と発表されているが15,000人は超えている!!

- ・富山からも10名が代表参加して来ました!!
- ・線量は、まだ高く、会場周辺で0.3ミリシーベルト
- ・一緒懸命、体育館周辺では、除染が行われてました



・27(木) 5役会議 (15時自治労会館)

・北信越B沖縄連帯キャラバン

とき 4月10日(水) 18時30分

ところ 高岡商エビル 4F

講師 安次富 浩 (あしとみ ひろし)  
ヘリ基地反対協議会協同代表